

平和作文コンクール審査委員長

福地信也先生寄稿

高校生の「平和作文」を読んで 考えたこと

平和という言葉の対義語として真っ先に思い浮かぶのは戦争です。他にも社会不安を引き起こす事件や事故、災害や疫病、そして高校生にとっては身近ないじめなどが考えられます。世の中や自分の身の回りが穏やかで身の危険や不安を感じる事がなければ平和といえるでしょう。しかし、世界を見渡せば紛争は絶えず、日本においても北方領土がロシアに、竹島が韓国に不法占拠され、尖閣諸島にはほぼ毎日のように中国公船がやってきて領海侵犯を繰り返しています。また、1970年代から80年代にかけて私たちの同胞が何人も北朝鮮に拉致され、そのうちの5人を除いて現在も多くの拉致被害者を取り戻すことができていません。こういう現実を直視し、その歴史的経緯を知るとともに、どうすべきか、何ができるかを自分の頭で考えることが必要かと思えます。

日本では東日本大震災などの大災害のあとも略奪や暴動が起こらず、今回のコロナ過でも国民の落ち着いた行動が世界から驚きをもって賞賛されました。このような国民性は、もともと災害の多い日本列島に太古の昔から住み続けている私たちはひとつの家族であり、お互いが争うことなく助け合いながら生活を営んできたことの証だと思えます。様々な民族が興亡を繰り返し、絶えず世界地図を塗り替えてきた他の国々とは全く異なる歴史をたどってきた我が国の国柄を知ることも大切なことです。

本コンクールの応募作品には、広島長崎の原爆、そして沖縄戦に触れたものが多く見られました。そういう悲劇を繰り返さないためにも戦争の本

質と人間性の本質とを深く考えなければなりません。コンクールに応募した人たちは平和というテーマに関心を持ってくれた訳ですが、それがまずは大事なことです。そして次に作文に書くという作業が重要です。書くことは自分の頭を使って考えることだからです。そしてその「考える」ということが一番大切なことなのです。

物事を考えるためには知識が必要です。知識は主に自らの体験や読書、新聞やテレビといったマスメディアから得られます。また、今ではネットメディアから得られるものも多いと思います。しかし、自らの体験や幅広い読書から得られた知識と違ってメディアを通じた情報は何が本当でどこまでが真実なのかわかりません。自分の経験や読書から得られた知識であっても、独り善がり陥っている危険性があります。ではどうすればよいのか。様々な情報に素直に耳を傾け、自分の目で見て確かめ、そして虚心坦懐に自分の頭で考えることしかありません。何が正しいかについては議論が分かれるところですが、それについては偉大な先人たちの知性と歴史に学び、自分なりの価値観を確立する必要があります。

お釈迦様は「実にこの世においては、怨みに報いるに怨みを以てしたならば、ついに怨みの息むことがない。怨みをすててこそ息む。これは永遠の真理である」とおっしゃっています。「怨みをすてることは人間には難しいことです。しかし、「怨みに報いるに」何を以てすべきかを考えることが、平和を希求する私たちの為すべきことなのではないでしょうか。

ブックギフト2020報告

宮城、福岡でも募集を開始
今年合計で54名から応募

浄土宗平和協会の主事業の一つである私費留学生図書支援ブックギフト、今年度は合計54人の留学生が希望する図書を受け取った。今回から、東京、京都、名古屋に加え、宮城、福岡でも事業を開始、計5ヶ所で募集活動を行なった。残念ながら、宮城での応募はなかったものの、福岡では1名のみではあったが応募があり、来年以降の事業の広がりが見えた。

今回の小論文のテーマは「私の心を豊かにするもの」。家族や趣味に関することなど私的な日常を描いたものや、母国への思いや留学してからの人との交流などに思いを馳せたものなど、さまざまな心温まるエピソードが綴られた小論文が寄せられた。

12月初旬から中旬にかけて、コロナ禍の中、4地区において授与式を実施、感染対策を施しつつ、希望図書を応募者の手元に無事届けることができた。今年は例年とは違い、応募者には事前の健康観察をお願いするとともに、事情があって授与式を欠席した場合でも、希望図書を自宅に届ける特例措置を取り、応募者全員に図

書を授与することにした。

今回の傾向として、大学院生からの応募が多く、4会場合計で、大学院生36人、学部生17人、専門学校生1人だった。また、昨年に引き続いて応募したという声も多く聞かれ、特に東京、京都、名古屋地区でのブックギフト事業の浸透度がうかがえた。次ページからは、授与式に参加し、各会場で代表としてお礼の言葉を述べた留学生の感想を紹介する。



ブック・ギフトin Tokyoで感謝の言葉を述べる留学生の代表・李在庸さん

ブック・ギフトで私費留学生に贈呈した書籍(一部)

堀部安嗣作品集：1994-2014全建築と設計図集、アトリエ・ワン コモナリティーズ ふるまいの生産、図解2アトリエ・ワン、形態デザイン講義、社会学の力：最重要概念・命題集、フィールドワーカー中国という現場、人類学という実践、雲南ムスリム・ディアスポラの民族誌、アイデンティティ尊厳の欲求と憤りの政治、日本の対外関係(4) 寇寇と「日本国王」、日本の対外関係(5) 地球世界の成立、日本の対外関係(6) 近代的世界の成熟、東アジアのなかの古代日本、朝鮮史研究入門、トルコ民族の世界史、最新理論言語学用語事典、言語の獲得・進化・変化、書評から学ぶ理論言語学の最先端(下)、明解日本語学辞典、銀河大図鑑、自然がつくる自然なパターン、日本の貝、絶滅できない動物たち、ゼロからつくるビジネスモデル、世界最先端のマーケティング、100年企業強さの秘密、俯瞰図から見えるIoTで激変する日本型製造業ビジネスモデル、地球変動研究の最前線を訪ねる、独習独解 物理で使う数学 完全版一、大気力学の基礎、中緯度の総観気象、数値計算のためのFortran90/95プログラミング入門(第2版)、趣味の社会学文化・階層・ジェンダー、アジア女性と親密性の労働、東アジアの労働市場と社会階層、格差社会を生きる家族—教育意識と地域・ジェンダー、ハイオサイエンスの統計学、カイエ・ソバージュ、研究の育て方：ゴールとプロセスの「見える化」、ピュリッツアー賞受賞写真全記録第2版、詩僧皎然集注、韓国歴史地図、大蔵経の歴史、日本のモスク、学習の心理 行動のメカニズムを探る、トートラー—人体の構造と機能、認知心理学—知のアーキテクチャを探る、メイザーの学習と行動、ルービの病理学、細胞生物物理学者への道 井上信也自伝、生命科学の実験デザイン、カラー図

解EURO版—バイオテクノロジーの教科書、マンキュー—経済学(1(ミクロ編))第4版、マンキュー—経済学(2(マクロ編))第4版、Rプログラミング本格入門—達人データサイエンティストへの道、韓国歴史地図、東南アジアのポピュラーカルチャー—アイデンティティ・国家・グローバル化、異文化理解力—相手と自分の真意がわかるビジネスパーソン必須の教養、ASEAN企業地図第2版、アフターソーシャルメディア多すぎる情報とイかに付き合うか、生化学の物理的基礎、人体発生学、生命進化の物理法則、植物生理学・発生学原書第6版、植物病理学 第2版、生物統計学、半導体の物理(半導体工学シリーズ)、個性物性と電気伝導、プロセスインテグレーション(半導体デバイスシリーズ)、日本外交年表並主要文書下、「大日本帝国」崩壊—東アジアの1945年、中華民国史研究の動向、蒋介石の「国際的解決」戦略1937-1941、谷崎潤一郎全集 第25巻、谷崎潤一郎全集 第26巻、日本疾病史、病気の社会史—文明に探る病因、現代有機化学(上)、現代有機化学(下)、内分秘代謝学入門、星の王子さま—The Little Prince(世界の名作英語版)、地方公務員制度講義(第7版)、天声人語2020年1月-6月、WEBコンテンツマーケティング、ブランディングの教科書、必ず成果につながる「商品ブランディング」、ブランディングの化学—新市場開拓編、中国の近代的刑事裁判、伝統中国判例資料目録、岩波講座「帝国」日本の学知 第3巻 東洋学の磁場、スライディングモード制御、非線形システム制御論、独学プログラマー—Python言語の基本から仕事のやり方まで、日本語教育能力検定試験合格問題集第3版、脳卒中基礎知識から最新リハビリテーションまで、プログラミング言語c++第4版、新訳ハイパー・マー

ケティング—あなたのビジネスを加速させる「力」の見つけ方、カラー徹底図解—基本からわかるシーケンス制御、心理学新版、社会心理学—補訂版、心理学英語(精選)文例集、ゼロからつくるDeep Learning③フレームワーク編、パターン認識と機械学習下、量子コンピュータによる機械学習、あるあるデザイン〈言葉で覚えて誰でもできるレイアウトフレームズ集〉、一陸技無線従事者国家試験問回答案、第一級陸上無線技術試験やさしく学ぶ法規、デジタル画像処理[改訂第二版]、画像処理エンジニア検定エキスパート・ベーシック公式問題集、通訳者のための医療の知識、医療現場に必要な多言語コミュニケーションのための6か国語対応、『人民日報』で学ぶ「論説体中国語」翻訳スキル1、新装版 中国語通訳トレーニング講座、ビジネス日本語マスターテキスト、量子コンピュータと量子通信I—量子力学とコンピュータ科学、量子コンピュータと量子通信II—量子コンピュータとアルゴリズム、量子コンピュータと量子通信III—量子通信・情報処理と誤り訂正、工学系のための量子光学—量子力学の基礎から量子情報通信まで、近代京都日本画史、正倉院宝物の構造と技法、日本画の所在—東アジアの視点から、王朝継ぎ紙づくり、著作権法 第3版、ありふれたものの変容—芸術の哲学、純粋法学第2版、憲法義解、医療英会話キーワード辞典：そのまま使える16000例文、診察と手技がみえる(1)、診察と手技がみえるvol.2、実験医学2020年2月 Vol.38 No.3 PAIN、はじめての人の日本語文法、植生のリモートセンシング、氷河地形学、防災・環境のためのGIS、中国近代外交の形成、中国の誕生—東アジアの近代外交と国家形成—、中国思想基本用語集、「中国」の形成 現代への展望、社会心理学 補訂版、人材開発研究大全

ブックギフトは「物質」ではなく
「精神」のギフトをプレゼントする事業

東京大学大学院 李在庸

12月6日、ブックギフト贈呈式が増上寺の大殿にて行われた。式典に出席するため、場所がどこにあるのかを地図で調べてみたところ、「その増上寺」であることに気づき、感嘆した。新年を迎えるカウントダウンのために何度か訪問したことがある増上寺で贈呈式が開かれるとは、興奮せざるを得ないことだった。

私は増上寺と東京タワーが一緒にある、つまり14世紀の伝統的な寺院と20世紀の高度な技術で建てられた建築物が対比される場面から、江戸と東京の長い歳月に加え、奥妙さを感じた。ただフォトスポットで有名な風景だからではなく、人類文明の含蓄と言えるか。文明は知識蓄積の結果物であり、その知識は「本」に象徴される。物理的には100メートルあまりしか離れていないものの、歴史的にはその間に目に見えない数十万、数百万冊の本が積まれているのと同じだ。その象徴的な意味を考えると、増上寺で図書をいただいたのは特別な経験だった。

本はよく「心の糧」と言う。どんな種類の図書であれ、我々は本から知識やインスピレーションを得ることができる。もちろん、速くて便利なパソコンファイルの本や論文が一般化しているが、それでも一枚一枚読んでいくと心が豊かになる快感と、読み終えたときの達成感の本を通じてのみ感じられる面白さだ。だからこそ、依然として本の価値は重要であり、ブックギフトの意味は輝く。

「私の心を豊かにするもの」について書いてみたら
自分の事もわかりました

福岡外語専門学校 エグチ イネスマリア

の事もわかりました。

「2020年私費留学生希望図書支援・ブックギフト」に参加しているいろいろなことを学びました。日本語で作文を書くことだけではなく、『私の心を豊かにするもの』というテーマについて書いてみたら、自己反省して自分

このブックギフトの奨学生に選ばれたという通知をいただいた時、本当に嬉しかった。普段、読みたい本があれば学校の図書館に申し込む。しかし、その希望が全て反映されるわけでもなく、図書があっても1週間しか貸し出せない。それでブックギフトについて知るや否や応募し、ありがたくも自分の専攻に関連した図書をいただくことができた。ちなみに、私は地理空間情報を活用して北極環境と地形を研究しており、今回『氷河地形学』と『植生のリモートセンシング』、『防災のためのGIS』をいただいた。

ブックギフトは「物質」ではなく「精神」のギフトをプレゼントする事業で、他の奨学事業とは異なる。図書よりは奨学金の方がより多様に活用されることができる。しかし、それだけ奨学金は「奨学」外の目的、まさに「物欲」に転用される場合が多い。一方ブックギフトは、学生が完全に学業に集中できるような知識とインスピレーションの糧を与えるという点で、無形かつ有形の奨学事業として、その意味が特別だと感じた。精神修養に精進した仏様のお教えが込められているように。私はその意味を振り返りながら、いただいた図書を活用してさらに学業に没頭したい。これが土台となって今後の研究が発展することを期待する。浄土宗及び寄付者の方々に深く感謝を申し上げる。

いただいた日本の物語の本を通して日本の文化を学ぶことだけではなく、自分の事や人生の事などを新しい視点から見て、もっと知りたいと思っています。

私の勉学への思いへの評価に 深く感謝

京都大学 曾 徳容

いつも大変お世話になっております。
今回は受賞者を代表いたしまして、感謝と御礼を申し上げます。
私はこれまで、日本の医学に興味を持ち、5年前に来日し、日本の国家試験が合格、大学院で医学の研究にいそしんでまいりました。はからずも、今回、私の勉学への思いを、このような形で評価していただき、栄え

ある受賞を賜りましたことはこの上ない喜びであり、深く感謝申し上げます。
今回の受賞および、表彰が、他の勉学にいそしむ人々へ、大きな励みとなるものであると信じております。私は、今回の栄誉を励みとし、これからもなお一層の研鑽を重ね、引き続き精進して参りたいと存じます。
誠にありがとうございました。

ブックギフトの図書が 私の心を豊かにする

南山大学 関 嘉穎

この度は、ブックギフトの授与式に参加させていただき、心より感謝しております。
私は友達の紹介により、浄土宗平和協会のブックギフトを知り、初めて参加させていただきました。今年の小論文「私の心を豊かにするもの」を書く前に、ブックギフトはどのようなプロジェクトなのだろうという疑問を抱いて、浄土宗平和協会の公式サイトを拝見しました。感動したことは、ブックギフトは一万人的お坊さんと平和協会の会員様から寄付金を集め、在日留学生に学業に必要な図書をプレゼントし、お寺の独特な文化を体験させるプロジェクトだということです。図書を通じて留学生の私たちに知識を与えるだけでなく、抹茶作りや念珠繰りの文化体験を通じて留学生たちの心を豊かにさせているのです。

今回、私がブックギフトからいただいた図書はほとんど通訳の知識に関係しています。私がまだ高校生の頃、中国国内で尖閣諸島の領土争いをめぐり激しい反日デモがあり、それを見て衝撃を受けた私は日中平和友好の關係に貢献できる通訳者を目指すため、2年前に故郷を離れ、日本の大学を進学しました。日本に来てまもなく、まだ日本語がそれほど上達していない頃、優しく助けてくれた日本

人がたくさんいました。それ故、たとえ力がわずかでも日中通訳になって、日中交流を増やし、両国の関係をより良くしようとする気持ちが強くなりました。

日中の友好關係に役立つ通訳だけでなく、在日外国人の助けになれる医療通訳者にもなりたいと思います。私は日本語がそれほど話せない頃、風邪を引いても言葉の支障で病院に行けず、とてもつらかったです。言葉が通じなければ自分の症状を伝えることも、医師の指示を理解することもできません。今年コロナウイルスが発生し、どれくらいの在日外国人が言葉が通じないため病院に行けず、家で孤立しているか、考えるだけで心配で心が痛みます。ブックギフトからいただいた医療通訳専門書は私が医療通訳者への道の第一歩と言っても過言ではありません。

浄土宗平和協会からのご支援のおかげで、私は通訳者の夢に近づくことができました。ブックギフトプロジェクトで経験したことや受給した図書が私の心を豊かにするものとなり、夢への勇気となりました。感謝の気持ちを胸に、これからも努力を積み重ねていきたいと思っております。

浄土宗宗立・宗門学校に在籍の
高等学校生徒対象に平和作文を募る

第2回平和作文コンクールを開催

浄土宗平和協会では、浄土宗宗立・宗門高等学校に在籍している生徒を対象にした、第2回平和作文コンクールを開催した。
本事業は、次代を担う高校生の「平和」への想いや考え等々を知り、浄土宗寺院ならびに教師が、若い世代に対し「平和」について働きかけるために今後取り組むべきことを見つけることを目的として、昨年度から実施し今年度が2回目となる。

昨年6月に、東海高等学校、華頂女子高等学校、東山高等学校、上宮高等学校、上宮太子高等学校、酒田南高等学校、正智深谷高等学校、淑徳与野高等学校、淑徳巣鴨高等学校、淑徳高等学校、淑徳S C高等部の11校を対象に募集、34作品が寄せられた。

応募作品に対し、今年度も学校法人佛教教育学園中等教育プロジェクトマネージャー・福地信也先生を審査委員長に、正副理事長、事務局長の5名で厳正に審査をした結果、総裁賞1名、副総裁賞2名、理事長賞3名、学校賞1校を決定した。

表彰は、該当生徒が在籍する高等学校において、学校長から栄誉を讃え表彰状を授与していただき、応募者全員に参加賞を配布した。

今号では、全受賞作品を掲載し顕彰すると共に、趣旨の通り高校生の「平和」への想いや考えに触れていただければ幸いである。

○応募状況

- ・上宮高等学校………20作品
- ・東海高等学校………12作品
- ・酒田南高等学校………2作品

○審査結果

- ・総裁賞（1名）
上宮高等学校3年生・半田捺稀さん
- ・副総裁賞（2名）
東海高等学校1年生・細川貴生さん
上宮高等学校3年生・市園結梨さん
- ・理事長賞（3名）
酒田南高等学校3年生・福田あかねさん
東海高等学校1年生・下坂元潤生さん
上宮高等学校3年生・田中絢乃さん
- ・学校賞（1校）
上宮高等学校

総裁賞

第	2	回							
平	和	作	文	コ	ン	ク	ー	ル	

だがしかし、戦争がなくなればこの世界は平和になるのだろうか。私はそうは思わない。もちろん、戦争がなくなる事はとても素晴らしいことだと思う。しかし戦争のない日本でも毎日のように悲しみに暮れ、助けを求めている人々がいる。戦争がなくなろうと、こんなにも苦しいのだ。

それならば、どうすれば「平和」になるのだろうか。そもそも「平和」とは何なのか。一概に言うことはとても難しいことだが、あえて言葉にするのなら、「明日に希望が持てること」だと、私は思う。戦争がなくとも明日に希望が持てない、明るい未来が描けない、そんな状態が平和だと言えない。

平和について

上宮高等学校3年 半田捺稀

平和自身、友だちだと思っていた人たちから度を超えたからか、受け取っていた時は明日に希望が持てなかった。平和だと胸を張って言うことができなかった。こんなことは、平和な日本で起きている中の本当に小さな小さな出来事だと思う。自殺や虐待、貧困や買春、そんなことが日常的に行われている世界で、明日に希望を持てる人はそう多くはないのではないかと感じる。もちろんこれは私が考える平和であり、感じ方や考え方は人それぞれだが、どうすれば私の考える「平和」に少しでも近づけることができるのかを考えていこうと思う。

私は平和に近づく第一歩は「知ろうとすること」だと考える。明日に希望の持てない人々の抱える複雑な問題の全てを理解することはとても難しいことだが、知る努力をすることは自分自身の無意識を自覚し、意識を変えていくことで少しずつ平和へと近づいていくことができるのではないかと考える。私自身も知る努力を怠ったため、人を無意識に傷つけてしまったこともあると感じているため、やさしい場面でも「知ろうとすること」を日々大切にしていきたいと考える。

平和というものは、一言で表すことができるようなものだが、一人一人が過去やこれからの課題、他者のことそして自分自身のことを知ろうとすることで何かが変わるきっかけになると考える。現実から目を背けず、向き合うということ大切にしていきたいと私は思う。

副総裁賞

第	2	回							
平	和	作	文	コ	ン	ク	ー	ル	

新型コロナウイルスは、私たちの生活に大きな影響を及ぼしている。長期臨時休校、外出自粛等を経験し、マスク着用、密を避ける暮らしが求められている。夏休みは大幅に短縮され、旅行等も控え、夏の楽しみを奪われた。感染症に脅かされ、当たり前だと思っていた日常生活は、決して当たり前ではなく、感謝すべきものだと思付かされた。この経験は、人々の日常を根こそぎ奪う戦争の理不尽さについて、深く考える機会となった。太平洋戦争中、人々は穏やかな暮らしを破壊され、食べる物、着る物もなく、言論も制限された。

七十五年前、日本には人類史上、最も残酷な夏があった。広島、長崎に原爆が投下され、一瞬にしてこの世の地獄と化した。原爆は、多くの市民の尊い命を奪い、奇跡的に生き延びた人々さえも、絶望に追い込んだ。後遺症という肉体的な苦しみに悩まされ続け、更に、偏見、差別という精神的な苦しみを受けた。結婚や就職では特に差別が酷く、被爆の事実を隠し続けて暮らした人も少なくないそうだ。

被爆者に対する偏見、差別があったことに憤りを感じる。人間は、何故こんなにも身勝手な残酷なのだろう。コロナ禍においても、感染者やその周囲の人に対する偏見や差別、誹謗中傷が相次ぎ、自粛警察という言葉が飛び交っている。全ての人が穏やかに暮らせる事が平和だと思う。差別をすれば争いが起きる。平和は他人を思いやる心から生まれる。

人類が新型コロナウイルスの脅威に直面している今、求め

平和な日常生活の尊さ

東海高等学校1年 細川貴生

られるのは、人々や国々の支え合いと協力である。国を守るためにと、より強力な兵器を国々が求め、その結果、人間を無差別に殺戮する核兵器が作られた。コロナ危機を乗り越えるためには、核兵器は何の力も持たない。世界は今こそ結束し、国際協力をしていく必要がある。人々に恐怖を与えるコロナウイルスを人間は完全に抑えることはできないかもしれない。しかし、核兵器は人間の手で完全になくすることができる。

原爆投下は、道義に悖る行為であると私は考える。正当化できる戦争などない。戦争は人間の意思で人間の上に落とされた。私は、中学の修学旅行で、広島の話り部の方から被爆体験を聞かせていただいた。語り部の方々は、思い出したくないはずの辛い体験を語ってくださり、命ある限り、原爆の恐ろしさを伝え、平和に尽力して下さっている。

被爆者の高齢化が問題となっている。私達は、被爆体験者から直接話を伺うことができる最後の世代であり、更にコロナ禍で日常の大切さを知った。そんな私達だからこそ、自分の耳で聞き、心で感じた戦争の無意味さ、原爆の非人道的性、残酷さを語り継ぎ、平和の尊さを世界に発信していく使命があると考える。残酷な形で広島、長崎の人々から日常を奪ったあの惨劇が、世界のどこにも二度と起きてはならない。全世界の未来の平和を切に願い、核兵器廃絶を強く求めていきたい。

私が思う平和の条件は二つあります。一つ目は言いにくいことを恐れずに言えることです。家庭内の小さなことから国際的な大きいことまで、規模に関係なく発言することは世の中をより良くしていくためにはとても大切です。しかし、ただ発言をすれば良いわけではありませぬ。相手を思いやりながらも自分の意見、立場をはっきりさせることが必要です。話し合いをして、折衷案を見つけたり相手もしくは自分の考えを改めたりして、できるだけ良い方に近づけようとする事によって、話し合いをした人々の意識が少なからず変わると思っています。そして意識が変わるといことは、物事を広く、別の視点から見つめることができるようになるので、平和を維持するためには欠かせないものだと考えています。その第一歩である、発言ができる、人の話に耳を傾けられる世の中はすなわち平和であると考えました。二つ目はお互いを認め合い、許せることです。世界には、見た目も生活習慣も思想も性格も違う人がたくさんいます。自分とは違う人達を追い込んだり見下したりするから戦争やテロ、いじめなどの悲しい出来事が起こってしまうのです。お互いを認め合い、好き嫌いは別として自分と何もかも違っても存在して良い、十人十色で良いという気持ち、できるかぎり仲良くしようとする気持ちは持つことが平和へとつながります。また、私はけんかをしたくないことが平和であるとは考えています。

平和とは何か

上宮高等学校3年

市園結梨

ん。生きていけば他人との衝突は避けられませんが、けんかというのには相手や自分の考えが違うから起こるものなので、それをしないということは、意見のすり合わせや偏った見方を直す可能性を捨てているのと同じであると考えています。平和とはけんかをしてもお互いに謝ることができて、許しあえることだと考えています。もちろん暴力やむやみに衝突するのはいけません。『雨降って地固まる』と言いますし、より相手の考えを理解するきっかけとなる場合もあるのでないでしょうか。恐ろしいのは許しあえずそのままにしておくことです。そこから相手に対する偏見が生まれ、てしまします。そうなるといじわるをしたり優越感にひたるための行動を起こす可能性があります。許すとは相手を信じ、認めることです。自分が間違いを犯したならば誠実な態度を、相手が犯したならば寛容な態度をとることでその気持ちがきつと相手にも伝わって、歩みよろうとしてくれるはず。皆が皆の全てを認めあい、許し合うことができればより相手を知れ、偏見を持つことなく手を取り合うことのできる日が来ると思っています。そして、その状態が平和であると私は考えています。以上の理由から、私は言いたいことを恐れずに言えること、お互いを認めあい許せることの二つが平和だと言える条件であると思っています。

今、この世の中では様々な形で、いじめや嫌がらせなどで苦しい思いや辛い思いをしている人が沢山いるはず。中には、見た目でいじめられたり、差別や、友人関係で上手くいかないと人にもいると思います。人はどうしてそのような嫌がらせをするのでしょうか。私たちは当然、そのように思いますが、やはり人間ですから、みんな違います。優しい人だけでなく、中にはそのようなことをする人もいるのです。可愛い子もいれば、可愛くない人もいます。誰だってみんな違います。私も小さい頃は太っていたし、見た目も良くない。クラスの男子に「ブス」やら「デブ」やら散々言われたことです。自分ではわかりきっていることでも、傷つくものは傷つきます。学校に行きたくないと思ったこともありました。周りには可愛いくてキラキラした子が沢山いる中で私は何かとても惨めに感じとても悲しかったです。でも当時は何かメンタルが強く、気がつけば辛いということとはなくなっていました。でも中にはそれがとても傷つくという人もいます。みんながみんな強いわけではないので、そのように言う人も気をつけてほしいし、いじめや嫌がらせが無くなってほしい。そう思います。

私の将来の夢は、美容関係の仕事に就いて人を綺麗にし、笑顔にさせることですが、その職業は、そのような

変えたい

酒田南高等学校3年

福田あかね

いじめや嫌がらせを受けて辛い思いや悲しい思いをした人を元気づけたり、勇気づけたりも出来る職業だと思っています。個人的に髪を弄ったり、メイクをしたりする事が好きだからこの職業で働きたいと思っていただけ、良く考えてみると、人を綺麗にするだけでなく人に勇気を与えられる素敵な仕事だと思っています。私はその職業に就いて、世の中の人々を綺麗にするだけでなく、勇気を与えられるような人になりたいです。人は努力をすれば変われるということも教えていきたいです。

今、世の中ではそのような苦しく辛い思いをしている人が沢山いるということもみんなにも知って欲しいです。私は美容の仕事で何かできることを見つけ、取り組んでいき、少しでも苦しんでいる人を助けてあげたいと思いました。他の人も自分から進んでできる事をして欲しいと思いました。いじめや嫌がらせがない世界を目指して、みんなが努力するべきだと思います。

「戦争状態ではない」ことを指す言葉として理解されるようだ。しかしこれは正しい解釈だろうか。無論、言葉の解釈には正誤などないのだから、自分はこの解釈について違和感を覚えた。なぜなら、戦争状態でないことは平和であるために必要な条件であるが、戦争状態でないからと言っていつも平和であると限らないからである。平和という言葉は、実に様々な意味を含んでおり、これを一言で表すことは不可能だ。国際間の関係についての平和、人種差別のない平和、貧困のない平和、あるいは身近

平和の追求

東海高等学校 1年

下坂元潤生

恒久的な「平和」を実現するのは、ほぼ不可能に近い。しかし自分は、平和を追求する過程に意味があると考える。世の全ての人が、平和を実現するために、一歩ずつ前進していくことを願わんばかりである。

終戦から七十五年が経った今、世代交代が進み、当時の記憶は失われつつある。日本人には現在、比較的恵まれた環境の中で生活しており、特に現代の若者にとっては、それがむしろ当たり前のこととなり、戦争は身近なものではなくなっている。戦後、誰もが世界の恒久的平和を望み、二度と戦争を繰り返さないように求めたが、このように世代交代が進めば、当時の記憶は徐々に薄まり、いつか失われ、戦争を認めるようになる時代が来るのかもしれない。

これは大変悲しいことだ。このような事態になることは私たちが何をしても防いでいかなければならない。既に当時のことを知る人は少なくなってしまったが、私たちは戦争の経験を忘れずに、戦争を明確に否定する力を持ち続けるべきだ。これは未来を託された私たちの義務と言っても良いだろう。

まずミクロな視点から平和を考えていきます。ミクロな視点とは先に述べた以外にもどのような例が挙げられるでしょうか。お金がたくさんある、仕事ができる、など数え切れないほどあると思います。ミクロな平和はこの世で生きている人間の数だけ存在します。それら全ての平和を実現するのは非常に難しいです。ではより多くの人々が幸せに平和に暮らせるためにはどうすればよいのでしょうか。私はやはり、人と人との絆が重要だと思います。第一に人間は社会性のある生き物であり誰かの支えがないと生きていくことができないからです。第二に誰かと絆を結ぶということがお金を必要とせず、多くの人が実践しやすいからです。では具体的にどのようなことをすればよいのでしょうか。私はごくあたり前の日常の場面における人との関係性で十分だと考えています。毎日行くスーパーの店員さんとのたわいもない会話であったり、毎朝花に水やりをしている隣近所さんとの会話であったり、もっとささいなことだと電車でお

ミクロな平和とマクロな平和

上宮高等学校 3年

田中絢乃

和へと近づけるはず。以上のことから、私はミクロな平和とマクロな平和の両方が世界平和には必要だと考えます。ミクロな平和とマクロな平和が共に実現された時、世界の平和が実現するのです。

和へと近づけるはずです。以上のことから、私はミクロな平和とマクロな平和の両方が世界平和には必要だと考えます。ミクロな平和とマクロな平和が共に実現された時、世界の平和が実現するのです。

ばあさんに席をゆずるだけでもいいと思います。日常の短い時間の中でも、その世界の片隅の小さな空間には確実に平和が存在しています。

しかし、やはり世界全体での平和の実現を考えるとそれだけでは難しい部分もあります。日々命の危険にさらされているような人々には、他人のことを考えている余裕はありません。ここで必要になってくるのがマクロな視点からの平和です。ミクロな平和は数え切れないほどありますが、マクロな平和は戦争、紛争、貧困が世界からなくなるといふことに尽きると思います。それらをなくするために必要なもの、それはやはり経済の発展です。経済の不況や貧しさは戦争や紛争を引き起こします。そして戦争に負けた国は貧困に陥ります。これは人類の長い歴史における多くの悲劇が物語っています。では具体的にどうすれば良いのでしょうか。私は先進国が貧しい国々に資金援助をし、経済発展を促すことが重要だと考えます。多くの富を持っているものは貧しい人々にその富を分け与えるべきです。現在先進国で核兵器開発にあてている多額の資金を貧しい国への資金援助に当てれば、世界は大きく平和へと近づけるはず。

浄土宗平和協会(JPA)

国や信条を超え、「平和」という人類共通の理念のために、志を同じくする人々による連携をめざす継続的なネットワーク運動として、浄土宗平和協会は会員を募集しています。入会希望、問い合わせは下記事務局へ。

入会要項

浄土宗平和協会（JPA）の活動にあなたも参加しませんか？

正会員

対象……浄土宗教師・寺族
会費……年間 10,000 円

賛助会員

対象……檀信徒、企業や宗教法人以外の団体
会費……檀信徒会員年間 2,000 円
法人会員年間 10,000 円（一口）

賛助会員は、応援に感謝を込めて、会報ダーナに芳名を掲載します。

ご希望の方には詳しい案内が掲載された協会のパンフレット（入会用振込用紙つき）を同封いたしておりますのでご利用ください。

平和念仏募金のご協力のお願い

平和念仏募金は、各NGOやNPO団体への援助、私費留学生に希望図書を贈呈するブック・ギフト活動、浄土宗平和賞などの活動に充てられます。

何とぞご協力賜りますようお願い申し上げます。

◆平和念仏募金は、平和・環境・福祉・人権などの諸問題に取り組むための募金に充てられます。

◆①世界の人々に役立つ、②共に学びあう、③社会にアピールする、④新たな人材を発掘・要請する——との方針のもと、NGOやNPOを支援しております。

◆私費留学生希望図書購入支援「ブック・ギフト」事業を行い、留学生の勉学支援をしています。

JPA 浄土宗平和協会重点活動

- 1 平和念仏募金運動
- 2 ブック・ギフト事業
- 3 浄土宗平和賞
- 4 NGO・NPO支援

浄土宗平和協会役員・スタッフ

理事長……	廣瀬卓爾	枝木美香
副理事長……	深谷雅子	伊藤茂樹
	山北光彦	参 与……
理 事……	東海林良昌	荻野順雄
	齋藤隆尚	川副春海
	小口秀孝	監 事……
	野上智徳	倉井正則
	山川正道	山下裕通
	本田行敬	事務局長……
	永江憲昭	事務局……
	永江憲昭	池野亮光
専門委員……	戸松義晴	小泉範幸
	大谷栄一	霜村真康
		田中堅信
		岩井正道



浄土宗平和協会

Jodo Shu Peace Association (JPA)

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 浄土宗社会部
TEL : 03-3436-3351 FAX : 03-3434-0744

連絡・問合せ先：浄土宗平和協会事務センター
〒622-0003 京都府南丹市園部町新町火打谷5 教伝寺内

TEL : 0771-62-0442 FAX : 0771-62-1620

メール : info@jpa-jodo.or.jp

郵便振替口座【01020-5-16369 名義：浄土宗平和協会】